

# PISA2009の課題を受けた今後の取組

## 課題を受けた取組

### ○新学習指導要領の着実な実施(小:平成23年度～、中:平成24年度～、高:平成25年度～) —知識・技能の習得と思考力・判断力・表現力等の育成のバランスを重視—

#### ● 理数教育の充実

- ・授業時数の増加(算数・数学:小学校16%、中学校22%増)  
(理科:小学校16%、中学校33%増)  
(共通) つまずきやすい内容の確実な習得を図るための  
繰り返し学習
- (算数・数学) 数量や図形の知識・技能を実際の場面で活用する  
活動の充実
- (理科) 観察・実験等の体験的な学習を充実

#### ● 言語活動の充実

- ・授業時数の増加(国語:小学校6%、中学校10%増)  
(各教科等) 言語活動を充実(レポートの作成や論述などの重視)

### ○「個に応じた指導」の推進とそのための教育条件の整備充実

- 教職員定数の改善(35人以下学級の実現)、外部のサポート人材の  
活用、教師の事務負担の軽減
- 習熟度別指導、少人数指導の実施 など

### ○全国学力・学習状況調査の実施と調査結果等を活用した教育の改善

- ・小6・中3を対象に国語、算数・数学について、「知識」に関する問題のみ  
ならず「活用」に関する問題についても調査を実施(平成19年～)  
(理科の追加を検討中)
- ・調査結果等を踏まえた学校、国・教育委員会での取組による検証改善  
サイクルの構築

### ○子どもの読書活動の推進

- 家庭、地域、学校における取組の一体的推進  
(家庭における読み聞かせなど読書活動に資する情報提供、  
地域における読書コミュニティの形成の推進、  
学校における朝読書などの読書活動の推進 など)